

みずほCustomer Desk Report 2020/08/28 号 (As of 2020/08/27)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	105.94
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	105.87	1.1841	125.31	1.3220	0.7245
SYD-NY High	106.71	1.1903	126.07	1.3285	0.7290
SYD-NY Low	105.60	1.1763	125.16	1.3162	0.7219
NY 5:00 PM	106.57	1.1823	126.00	1.3198	0.7259

NY DOW	28,492.27	160.35	日本2年債	-0.120	0.00bp
NASDAQ	11,625.34	▲ 39.72	日本10年債	0.040	0.00bp
S&P	3,484.55	5.82	米国2年債	0.159	0.79bp
日経平均	23,208.86	▲ 82.00	米国5年債	0.312	2.47bp
TOPIX	1,615.89	▲ 8.59	米国10年債	0.752	6.46bp
シゴ日経先物	23,225.00	▲ 65.00	独10年債	-0.4055	0.70bp
ロンドンFT	5,999.99	▲ 45.61	英10年債	0.3355	3.45bp
DAX	13,096.36	▲ 93.79	豪10年債	0.9100	▲3.30bp
ハンセン指数	25,281.15	▲ 210.64	USDJPY 1M Vol	6.15	▲0.36%
上海総合	3,350.11	20.37	USDJPY 3M Vol	7.78	▲0.10%
NY金	1,932.60	▲ 19.90	USDJPY 6M Vol	7.40	▲0.06%
WTI	43.04	▲ 0.35	USDJPY 1M 25RR	-0.95	Yen Call Over
CRB指数	152.70	0.25	EURJPY 3M Vol	7.88	▲0.10%
ドルインデックス	93.00	▲ 0.00	EURJPY 6M Vol	7.88	▲0.10%

東京	東京時間のドル円は105.87レベルでオープン。序盤、日経平均株価が前日対比マイナス圏で推移する動きに、ドル円も軟調に推移。しかし、ハウエル議長の講演を控えたポジションを傾け難い状況下、105.80をつけた後に反発。終盤にかけて106円台に乗せ、結局106.02レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.02レベルでオープン。午後にジャクソンホール会議を控えて方向感が出づらい展開が続いた。106.08レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3206レベルでオープンし、朝方は特段材料不足と午後の重要イベントを控えて閑散とした値動きだったが、東京時間安値の1.3195を割れると1.3165まで下値を広げた。しかし、すぐ反発し、1.3200レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、ジャクソンホール会議でのハウエルFRB議長の講演を控え、様子見ムードが強まる中、106円を挟んだ狭いレンジで推移。米国南部に上陸した大型ハリケーン「ローラ」の動向なども注目される中、方向感の出にくい展開が続き、106.08レベルでNYオープン。朝方発表された米新規失業保険申請件数は予想範囲内、米4-6月期GDP第2次速報値は小幅な上方改定となるも、9時10分開始予定のハウエル議長講演待ちのため、市場の反応は限定的だった。注目の講演ではハウエル議長がFRBの長期目標改定に関する声明を発表し、「インフレは期間平均で2%を目指す」と述べ、ゼロ金利政策が長期化するとの見方からドル売りで反応し、105.60をつける。しかし、FRBがインフレの一時的なオーバーシュートを容認することは既に織り込まれていたためか、米10年債利回りが上昇に転じ0.74%台を乗せる動きとともに、ドル買いが強まる。月末を控えたドルの買い戻しも相まって、106.57まで上昇。午後はドル買いの流れが一巡するが、米株の堅調推移を睨め、円売りが強まる中、106.71まで高値を更新。終盤は高値圏で小動きとなり、106.57レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、イベント前で様子見ムードが強い中、1.18台前半まで方向感なく推移。早期に欧州株の軟調推移や独金利低下を手がかりにユーロ売り優勢となり、1.1794まで下落後、1.1814レベルでNYオープン。朝方はハウエル議長講演に反応し、ドル売りが強まったことから一時1.1903まで急伸。しかし、月末を意識した利益確定のドル買いが強まり、米金利上昇を受けて下値模索の展開となり、1.1763まで安値を更新。ドル買いが一巡すると、1.18台前半まで値を戻し、結局、1.1823レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

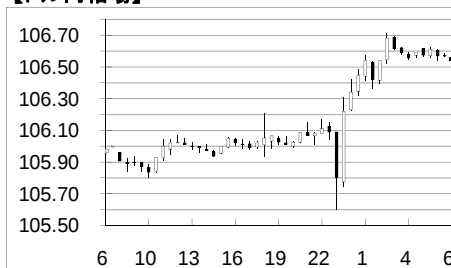
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
8月27日	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q S	-31.7%	-32.5%
	21:30	米 個人消費	2Q S	-34.1%	-34.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	22-Aug	1006k	1000k
	22:10	米 パウエルFRB議長発言		「インフレは期間平均2%を目指す」	

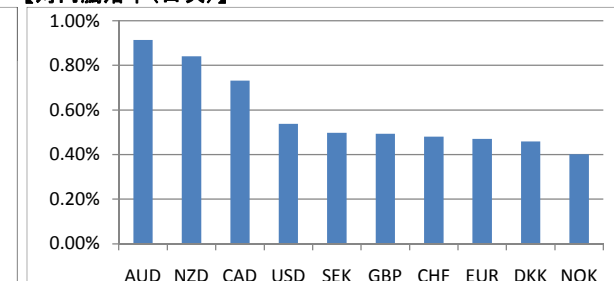
【本目の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月28日	08:30	日 東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	8月 0.6%/0.3%/0.4%	0.6%/0.4%/0.6%
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	7月 -0.9%	-1.4%
	21:30	米 個人所得/個人支出	7月 -0.3%/1.6%	-1.1%/5.6%
	21:30	米 PCEコアデフレ(前月比/前年比)	7月 0.5%/1.2%	0.2%/0.9%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	8月 72.8	72.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.80-106.80	1.1780-1.1880	125.40-126.20

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は東京時間こそ105円後半で方向感に乏しい推移となったものの、海外時間に106円を挟んで上下に値幅を広げる展開となった。ジャクソンホール会議ではパウエルFRB議長が「平均物価目標の導入及び物価上昇率が2%を緩やかに上回ることを許容する発言をしたことを受け一時105.61レベルまで下落、しかし一巡後は米長期金利の上昇を睨みながら買い圧力が強まり、106.71レベルまで急伸した。もっとも本日については、ドル円は上昇一服後の下方向の動きを予想。夕方には安倍首相の会見や、海外時間に米7月個人所得/支出、ミシガン大消費者マインド等の発表を控えるため影響は限定的か。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア		6	15